



阿弥陀仏(如来)

蓮如上人

親鸞聖人

光といのち

第125号

— お盆 —

2020年8月1日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

メール info@syozenji.or.jp

HP <http://syozenji.or.jp/>

住職井上孝昌(釋孝昌)



聖徳太子

七高僧

切り籠灯籠



前坊守と前住職法名

代々の住職法名

開基 永範

切り籠灯籠

くおんじつじょう あみだぶつ
久遠実成阿弥陀仏

ごじやく ほんぐ
五濁の凡愚をあわれみて
しやくむ にぶつ
釈迦牟尼仏としめしてぞ
がやじょう
迦耶城には応現する

親鸞聖人「弥陀和讃」より

いかががお過ごしですか。

今年は台風15号による被災、さらにそれが今後どうなるか、未だ見通しが立ちません。「新しい生活様式」になかなか慣れませんし、世情は昨年の中頃とまるで変わりました。

「何が善だやら悪だやら、何が真理だやら、非真理だやら、何が幸福だやら不幸だやら、一つも分かるものではない。」(清沢満之「我が信念」) 時代社会になりました。

さて、左記の通り、
孟蘭盆会を行います。

記

八月十日(月) 山の日

十時〜十一時半

真宗大谷派は、「阿弥陀如来一仏を本尊」と『宗憲』に定めています。

題字下の親鸞聖人の和讃は、「久遠劫の昔に実に成仏された法身の弥陀が、この娑婆世界の凡愚を憐れんで、釈迦仏となって、迦耶城に応現し給う」(『親鸞和讃集』岩波文庫62頁) というところです。

「法身」は「かたちもましまさず、いろもましまさず、無明のやみをはらい、悪業にさえられ」ないはたらきだと、親鸞聖人は教えています。「凡愚」は私たちのこと、「迦耶城」は釈迦が生まれた場所です。

本堂や各家仏壇のご本尊阿弥陀仏は、法身である弥陀が釈迦仏になって現れ、私たちに「南無阿弥陀仏」と称えて救われなさい」と説くお姿で奉安しています。

お釈迦様のこの説法を、私たちにまで伝えてくださった方々が、七高僧(龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然)・聖徳太子・親鸞聖人・蓮如上人、そして開基永範・代々住職・前住職・前坊守です。各ご家庭では、法名軸の方々です。

この方々のところに触れた時、私たちは阿弥陀を感じ、「南無阿弥陀仏」と念仏申せます。

「お盆」は、「南無阿弥陀仏のころ」を教えてくださったこれらの善知識に、報恩感謝する期間です。

※真宗大谷派では、写真の切り籠灯籠を用います。房州切り籠・盆提灯は、不要です。

「君たちがどれだけやっても暗中模索です」。

これは楠信生先生が、十年ほど前の研修会で、受講者に投げかけた言葉です。

「あなたの人生は、独りよがりの努力をその都度しているだけ。仏法に目覚めた人に遇あわないと、一生が空しく過ぎます」と私には聞こえました。

以下の文章は、東本願寺青少年センター子供会情報誌『ひとりから』第28号から転載しました。

南無阿弥陀仏のこころ

真宗大谷派教学研究 所長

楠 信生

三人の盗賊

昔、インドに悪知恵のはたらく三人の盗賊がいました。『盗賊』というのは泥棒のことですが、三人で大金持ちのところに入り込みました。

そして、たくさんのお金と食べ物と山の中に逃げました。何日かすると、食べるものがなくなってきました。そこで、三人の中の一人が、「誰かが食べ物を買って行かなければならない」と言って、三人でくじ引きをしました。そしてくじ引きの結果、一人の盗賊が町へこつそりと食べ物を買に行きました。そのあいだに、残った二人の盗賊が相談しました。「あいつが戻ってきたら、二人であいつを殺そう。そうしたら二人で山分けできる」と。

しばらくして、買い物に行った盗賊がたたくさんの食べ物とお酒を買って帰ってきました。岩陰に隠れていた二人の盗賊は、買い物をしてきた盗賊を襲って殺してしまいました。「これで、二人で山分けができる。」

山分けする前に、買って来た酒で祝いの酒を飲もう」と言って飲み始めました。すると、飲み始めた途端に具合が悪くなって二人とも死んでしまいました。実は、最初に殺された盗賊は、二人に毒を飲ませて宝物を

独り占めしようとしていたのです。結局、二人とも死んでしまいました。

どうですか？おそろしい話ですね。ところがね、仏さまはこの話を聞いて、「おそろしい」とは思われないのです。「悲しいことだ」と言われると思います。それが私たち人間と仏さまの違いです。私たちはこういう話を聞くと、「おそろしい」、「そんな目に遭いたくない」、「そんな人とも会いたくない」と思ってしまう。でも仏さまはこの話を聞くと「悲しい人だ」と感じられるでしょう。

姉弟のお話

ある時、私がお参りに行った時のことです。八歳くらいのお姉ちゃんとお五歳くらいのお弟の二人が目の前にいましたので、「二人がいて、ケーキが一個だけあったらどうする？」と聞いてみました。その時に弟さんが真つ先に言ったことにちよつとびっくりしました。何て言ったかというのと「僕一人で食べると。おまけに一人でお食べたほうがおいしい」と言うのです。その後、お姉ちゃんが

よっと恥ずかしそうに、「分けて食べる。分けて食べたほうがおいしい」と話してくれました。

この話も、お姉ちゃんのほうが素晴らしい子で、弟はちよっと勝手な困った子だなというだけのことではありません。仏さまはどのように見えておられるかな？「一人で食べたほうがおいしい」と言った弟には、「もう少し人のことを考えよう。人のことを考えることが本当に自分を大切にするのだよ」。それでは、お姉ちゃんはどうだろうか。「分けて食べたほうがおいしい」という優しい気持ちの子は、ずっとつらい目や苦ししい目にあわないで済むのだろうか。いくら優しい良い子でも、悲しい目にあうのではないだろうか。その時には仏さまは「自分を見失わないで、自分を大切にするのだよ」と一緒に悲しんでくださいます。ですから、仏さまは、男の子は良くない子、女の子は良い子、ただそれだけじゃなくて、仏さまはいつも両方を心配して見ていてくださいます。

仏さまの呼びかけ

先ほど皆さんと御影堂（東本願寺内の親鸞聖人御真影を奉安する堂）へ行ったとき、二歳くらいの子がお父さんと一緒にいるのだけれど「お母さん、お母さん」と言いながら泣いていました。皆さんは「悲しいな、さみしいな」と思ったときに誰の名前を呼びますか？

今日、来てくれているお父さんもお母さんも、そして、おじいちゃんもおばあちゃんも、本当に悲しいときや、また、うれしい時に「南無阿彌陀仏」と言って、親を、そしてその親が親を思うように「南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏」と言ってこられました。今日はその気持ちを大切に、みんなをここ（東本願寺）へ連れてきてくれました。

仏さまが私たちに「南無阿彌陀仏」と、私の名を呼んでください。そして、本当の人間になってほしい。本当の人間になりたいという心でみんな一緒に南無阿彌陀仏と言いましょう」と、このように呼びかけてくだ

さっています。このことをお伝えしたくて、今日ここに立ちました。

私たちにはどうしても自分さえよければいい、自分が楽しければいい、そういう気持ちがわいてきます。その時に「南無阿彌陀仏」という言葉が、「それでいいのかい？それで本当にあなたは満足できるの？」と問いかけてくれます。その心を七十五年以上前の親鸞聖人が私たちに伝えてくださいました。そして今、皆さんのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが、その心を受け止めてほしいという一念で、こういう場が作られています。

またご縁があれば来年も親鸞聖人のお話を聞きに、そしてお友達に会いに来てください。ありがとうございます。ありがとうございました。

私の心の中に、三人の盗賊として弟と姉が居ました。南無阿彌陀仏がそう教えてくれました。

勝善寺奉仕作業



6月28日(日) 本堂などのガラス拭き

川名喜昭

坊守

鈴木正一郎

長谷川吉枝

大胡登美子

池田千代枝

久保賢祐

黒川敦子

敬称略

堀海榮子

北村洋子

重田和夫

朝倉和利

明石圭司

7月12日(日) 鐘楼周辺などの草刈り



ありがとうございました

し本堂と庫裏のガラス拭きを行いました。責任役員と総代だけで桜の苗木が若竹で覆われそうな場所だけの草刈りを計画しましたが、それを聞きつけた世話人や有志の方々に、鐘楼周辺斜面・第二墓地奥の桜や彼岸花が咲く場所の草刈りもできました。

六月二十八日(日)に予定していましたが、大雨のため草刈りは中止

敬称略

前列右から

朝倉 清

足達 崇

川名喜昭

田中昭一

高梨維夫

吉田 誠

正木道雄

後列右から

青木達郎

富沢真知子

田村晋一

田中 誠

田中 嘉一

三堀 清

能重 薫

狩野昌也

川名利幸